

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：稲葉 徹
 幹事：大嶽 達郎
 クラブ広報委員長：鈴木 健司
 例会日：毎週木曜日 PM12:30~
 会場：ヒルトン名古屋



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017~2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1831回例会

～青少年奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2018年5月10日(木) 晴れ 第39回

司会：鈴木淑久会場委員長
 斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

稲葉徹会長



皆さん、こんにちは。5月のゴールデンウィークも終わり、仕事に今週から復帰してみえると思いますが、ゴールデンウィークの遊び疲れで体調は大丈夫でしょうか。本日は、「八十八夜」についてお話ししたいと思います。

「八十八夜」は、立春から八十八日目、本年は5月2日がこの日にあたっています。昔から八十八夜は、新茶の摘み取りをはじめ、さまざまな農作業の目安とされてきました。昔小学校で歌った、「夏も近づく八十八夜、野にも山にも若葉が茂る。あれに見えるは茶摘みじゃないか、あかねだすきに菅の笠。」で知られています。この時期は天気も良くさわやかな気候ですが、この歌の夏とは、実は立春のことで、立春から3カ月、24節気の立夏になります。本年は5月6日にあたり、八十八夜の4日後になります。それにしても、八十八夜を特別に重視しているのは、なぜでしょうか。農作物の繁忙期と八十八夜が結びついたのは、「八十八」という文字を一時にまとめると「米」という字になるからであるとされ、米になるまでには、八十八回手間がかかるからとも言われているそうです。

八十八夜に摘んだ新茶は質も味もよく、昔から喜ばれてきました。また、無病息災や不老長寿の縁起物としても知られ、親しい人への贈り物、神様へのお供えとして今でも重宝されています。

又、この時期の食べ物としては、「金目鯛」もしくは「いさぎ」がおいしいものです。金目鯛は大物は体調50センチを超えるものもあり、煮付けや塩焼きはもちろん、刺身、しゃぶしゃぶ、カルパッチョもおいしいとされます。私は、煮付けが好きで、脂ののったものに味付けをこくしてあたたかいごはんを食べると最高です。皮目が赤くあざやかで、目が丸く透き通ったものが新鮮でおいしいとされています。また、いさぎはこの時期より夏に向けて脂がのってきて、塩焼きはもちろん、一夜干しもおいしいものです。私は塩焼きが好きで、厚みのある皮は焼くといちだんと美味しさが増します。

この時期の行事としては、5月11日より長良川の鵜飼いが始まります。1,300年の古い歴史があり、夜の川にかかり火を焚いた鵜舟が何艘も現われ、鵜匠の巧みな手縄さばきでは、一ぶくの絵のようで幻想的でもあります。今年は久しぶりに鵜飼いにしてみたいと思います。

出席報告

田中宏出席委員長

会員65名 出席49名(出席計算人数48名)

出席率 90.7% 4月26日は補填により86.3%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

- 5月6日森裕さんのご長女の結婚式に出席させていただきました。すばらしい結婚式でした。おめでとうございます。5月4日?回目の結婚記念日でした。特に何事もせず終わりました。稲葉 徹さん
- 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。佐治 寛行さん
- 5/3は誕生日でした。70才(古稀)になりました。長瀬憲八郎さん
- 4月28日は妻の誕生日でした。素敵なお花を贈って頂き、有難うございました。伊藤 豪さん
- 先日は妻へのお花、ありがとうございました。(4/26) そして、みなさま本日、新入会員の萩原さんを宜しくお祝いします。花井芳太郎さん
- 5/11は妻の誕生日です。ありがとう。泉 憲一さん

- 5/27は奥さんの誕生日です。5/2のコンサートは、おかげ様でほぼ満席でした。平野 好道さん
- 今日はインニエーションスピーチ宜しくお祝い致します。牧野 智繁さん
- 牧野さん、卓話楽しみにしています。安岡 克明さん
- 萩原さんが入会します。よろしくお祈りします。鈴木 淑久さん
- 北海道で散財してきました。堀 慎治さん
- 村上さん、鳥勢さんでお世話になりました。参加者のみなさん、ありがとうございました。湯澤 信雄さん
- 村上さん、素敵なお店をご案内いただき、ありがとうございました。岩田委員長、臨時の研修委員会、本当に感謝しています。本多 誠之さん
- 村上さん、先日はお世話になりました。楽しい時間でした。田中 宏さん

新会員入会式

新会員入会式にてバッジとネームプレートが新会員に渡されました。

萩原孝則さん
 職業分類：水産物卸売



皆さん、はじめまして。ハイコーポレーションの萩原と申します。市場で魚を扱っていることが多くすごく狭い世界で30年以上やってきたので、このような色んな方のお付き合いが無かったように思います。数年前に鈴木淑久さんと知り合いになれ、お付き合いをさせていただく中で、いつの間にかここにいるという感じがしています。田舎者ですので分からないことだらけだと思いますが、一生懸命勉強します。宜しくお願いします。

委員会・同好会報告

米山奨学委員会：亀井直人委員長

先日、4/29に上海で奨学生の金さんにお会いしてきました。金さんは今野村證券のインターンとして働いています。今年公認会計士の資格を取るべく勉強をされているようで、公認会計士の資格を取ったあとは司法試験の受験を目標としています。クラブの皆さんに宜しくお伝え下さいとの事でした。

野球部：鈴木淑久さん

6/13(水)夕方から試合が決まりましたので、それに合わせて早朝練習を5/11・25・30に行います。まだ登録されていない方奮ってご参加をお願いします。ぜひとも勝ちに向かって頑張りたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。

幹事報告

大嶽達郎幹事

- 本日13:40から第6回CA・第11回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。
- 5月12日(土)18:00から次年度会場委員会を名古屋餃子製作所にて行います。
- 次週5月17日(木)は通常例会をヒルトン名古屋5F「銀扇の間」にて行います。
- 同日13:40から次年度予定者会議をヒルトン名古屋5F「銀扇の間」にて行います。
- 同日18:00から入会10年未満会員親睦研修会を行います。場所は未定です。
- 先日の新旧CAにて次年度委員長へお願いしている活動計画の提出締切が本日です。未提出の方はお願い致します。

5月誕生日おめでとう

高村 博三さん 長瀬憲八郎さん
 加納 裕さん 堀 慎治さん

人との出会いについて

皆様、こんにちは。牧野智繁と申します。日頃、皆様には親しくしていただき、ありがとうございます。また、今日はイニシエーションスピーチの機会を頂き、ありがとうございます。私は昭和43年1月7日生まれで、家族構成は妻と3人の息子がおります。三男が今年就職してやっと子育てが落ち着いたと思ったら、次男が今年結婚をするという事で、もうすぐ孫の顔を見ることが出来そうです。私は職業柄単身赴任で家を空けることが多く、更に男家族という事で妻には大変な思いをさせてきました。私の人生では良妻に出会えたことが大きなプラスでもあります。そこで、私は今までの人生で感じた、「人との出会い」が転機となるということについてお話しさせていただきたいと思っております。

私の幼少時代は、父が転勤の多い仕事であったため、小学生の時に愛媛県内で3校、中学生の時に愛媛・宮崎・福岡と3校、転校を繰り返すという日々でした。目まぐるしい環境の変化に適応するのは大変でしたが、すぐに周りに馴染むことが出来たため全く苦になりませんでした。そこには、スポーツを通じた「人との出会い」があった事が大きかったと感じています。私は小学生時代、プロ野球選手になるため野球のリトルリーグに加入し厳しい教育を受けていましたが、誰もが憧れるエースという存在にはなれませんでした。そこで、5年生の時にサッカー部の顧問をしていた担任の先生に、助っ人としてサッカー部に呼ばれたことがきっかけとなります。試しに行ってみると、みるみる上達しすぐにレギュラーに選ばれエースとなり、その勢いで県の代表選手となったのです。そこでサッカーへの転向を決めました。中学時代には九州地区の代表選手に選ばれたこともあります。スポーツをしていたことで、チームの仲間や友達が出来、周りの環境に馴染むことが出来たという事、また当時の担任の先生に出会ったことがきっかけとなり、サッカーに出会えたという事。

高校進学の際に大きな転機がありました。いくつかある高校の中でも、日体大出身の若い監督と出会い、その監督の力強い言葉に負けて、サッカーの特待推薦で東海第五高校(現:東海大附属福岡高校)に入学を決意しました。入学後に驚いた事があります。1つめは、恐ろしい弱肉強食の世界だということです。実際に入ってみると入学時に160人もいた新入部員は厳しい競争が行われた結果、卒業時には10名ぐらいまで減っているほどです。毎日のように部内で行われる練習試合には実力のある者しか参加できず、私は1年生でありながら持ち前のチャレンジ精神を発揮してユニフォームを勝ち取りました。他の先輩からは生意気だと妬まれ嫌がらせを受ける事もありましたが、いつしか監督からは多くのチャンスを与えていただけるようになり、トップチームに上がることが出来ました。2つめは、監督の勝利至上主義でした。若かった私は納得できない戦法に反発したこともありましたが、今になってみると監督の勝利至上主義は非常に身に染みしています。ある意味、社会に出てみれば当然の事でした。勝たなければ何も残らないのです。厳しくてもこの監督についていこうと頑張った結果が、高校生活でインターハイをはじめ全国大会に6回出場することが出来ました。ここで、悪い意味でも転機がやってきます。高校3年の1月に起こした問題により、スポーツ推薦の決まっていた大学が全て取り消しになってしまったのです。本当に悔やんでも悔やみきれませんでした。そんな絶望の淵にいた私を救ってくれたのは母でした。「サッカーの選抜大会もすべて終わった後だったので、誰にも迷惑をかけなくて良かった。」そう優しく言う母の姿に涙が溢れました。その後私は大学に進学するつもりは無くなっていましたが、知らない間に母が願書を出しており促される形で試験を受けた結果、無事に合格でき大学入学が決まりました。あの時、母がいたからこそ今の私があります。周りに暖かい人たちがいてくれた事も私の人生の中で大きな財産であったと感じています。

私が東京証券(現:東海東京証券)に入社したのは平成2年、バブル崩壊の兆しは出ているものの調子の良い時代でした。入社のおかげは、大学時代に今言う人材派遣事業で稼いだお金を使い、株式投資をしたところ大儲けをしたことです。その事業で稼いだお金は全て車と株に使っていたので、投資顧問に行くなど学生としては結構な額を投資していました。時代の流れを見ると、これからは間接金融ではなく直接金融である、絶対に資本市場がこれから影響力を増してくる、そんな予感が入社を決意しました。当時の証券会社は、株価は青天井で上がり続ける、黙っていてもお金が入ってくるというこの世の春を謳歌していました。ただし、この後すぐにバブル崩壊、株式取引の手数料自由化などで苦難の時代が始まるわけですが、

最初に配属されたのは宮崎県で5年を過ごすことになるのですが、大きな転機と青果会社の社長との出会いがありました。その社長の下には証券会社や銀行など、多くのセールスが列をなして足繁く通っていることが見て取れました。私自身も何度かお邪魔させていただいたのですが、素っ気なく断られていました。しかし、ある日一晩飲み明かした後に酔いを覚ますとサウナへ行ったら、その社長と偶然一緒になり「お前、証券会社の人間だろ」と声を掛けていただきました。幸運にも私の顔を覚えて下さったのです。社長はご高齢でしたが、現役で「競り」に自ら出る関係から、競りで汗をサウナで流すのが日課だということでした。この偶然の出会いから社長の背中を流させていただき、裸での付き合いとなったのです。その後、弱冠23歳の若造に運用資産を一手に任せていただき、私は幸運にも1年目にして、20~30人の営業員がいる支店のトップセールスになることが出来ました。

その後、松山支店へと転勤となりました。今からちょうど20年前くらい、当時ITバブルにより相場は下向き、多くの投資家の方々にとって損が出ている時代でしたので、下げ続けている相場環境の中、どうしたらお客様に利益を提供することができるのか必死に考えました。そこで、当時は御法度とされていた空売りを推奨し

たのです。これにより多くのお客様へ利益の還元をすることが出来ました。松山に転勤してから約1ヶ月間ホテル暮らしだったので飲み屋によく顔を出しており、そこで四国内で1番運用をされている社長と出会い、良くしていただいたことがきっかけとなり当社との取引を開始して下さいました。信頼関係を築きながら、お客様には株で儲けていただき、お客様からは他会社の社長を紹介していただくなど、お互いにWIN-WINの良い関係性を構築することが出来ました。そのお陰で、転勤後数ヶ月にしてトップセールスとなる事ができ、旗艦店である都市部の主力店舗からトップセールスが選出されるという通例を覆すことができたのです。この事で金融監督庁から目をつけられ、東京からはるばる松山まで3人もの検査官が検査に入るという前代未聞の出来事もありました。しかも、これは店舗の検査ではなく、私個人に対する検査だったのです。長時間にも及ぶ警察官からの取り調べを受けているような気分ではありましたが、特に問題と見られるようなことは無く、検査官の方々も驚きながらも誉めて下さいました。

次の転勤先、横浜の港南台の店舗時代には、最年少の32歳で課長となりました。今では電子化されている株式会社ですが、当時は株券で現物の紙だったため、タンスの中に眠っているというお客様が多く、お客様に来店して電子化してもらおうと会社の施策として土日に店舗を開きました。金融機関は土日祝にお休みをいただいておりますが、土日に店舗を開くことで平日働かれている現役世代の方達の来店を見込めました。当時ではあまりない施策でしたがベッドタウンということもあり、休日に多くのお客様にご来店いただくことが出来ました。その結果、200億円もの株券を当社に預けていただくことができ、実はこの200億というのは小さな支店の約1店舗分の預かり資産に匹敵する金額なのです。

4年後に東京の下北沢で36歳にして支店長となりました。支店長になるとマネジメント、支店経営の力が求められます。そのため意識的に部下とコミュニケーションを取る事を日々心掛けています。部下を動かすには相互理解が必要不可欠であります。私の顔は黙っていると怖いようで、自分から努めて話しかけていくことにしています。また、コミュニケーションを取りやすくするきっかけとして、会社でフットサル部や山登りやラフティングなどを主に行うアウトドア部を設立しました。部活では会社での喧嘩を忘れ、楽しむ事をモットーにしています。部下との出会いも肝心であり、今まで多くの窮地を共に切り抜けた部下と出会ったという事も私にとって大きなプラスとなりました。その後、木曾川、吉祥寺、池袋、当社の本丸である名古屋支店の支店長を歴任した後、現在の新瑞橋店配属されて現在に至ります。

このように若輩者の私ですが、今までの人生を振り返ると、転機や節目には必ずといっていいほど「人との出会い」がありました。これが良くも悪くも私のこれまで歩んできた人生に影響を及ぼします。これは私の行動に賛同するものや反対または先導するといったことで選択という多くの機会を貰い、人生という多岐にわたる道における選択肢を示してくれたのです。それは、「人との出会い」「人の直接的な関わり合い」を通して、私の内面や生き方、すべてにおいて影響を与えてくれました。

現在の社会では、SNSによるリアルな社会でのコミュニケーション不足などが問題となっています。全てを否定するわけではありませんが、直接的なコミュニケーションを通して、人生を変えるきっかけとなるものを育むというのはとても大切なものであったと私は感じています。現在、私は職場の部下への指導として、他人とのコミュニケーションを通じた属性の把握を徹底するように伝えています。これは相手の属性を把握する事で、相手がどうい人物なのか、何を求めているのか、という刷り込みをすることができ、相手への配慮が出来るようになります。こうすることで、お互いのコミュニケーションの向上、ひいては相手との出会いが良いものであったということに繋がるとも思います。昔あるところで耳にしたのは、地球上には沢山の人間が存在しており、人と人が出会う確率はおよそ65億分の1であるという事、計り知れない確率から出会った人の「縁」は必然であり、深い意味があるというものです。折角、出会った人なのですから、その出会いを大切に、相手にとって人生の転機のかげきとなるような、また自分にとって成長のかげきとなるような有意義な出会いにしてほしいと私は考えます。少し話が横道にそれてしまいましたが、私が言いたい事は、「人との出会い」というものは何にも帰ることのできない、かけがえないものであるということです。

新参者の私ではございますが、名古屋瑞穂RCの方柄との出会いは私にとってかけがえないものであります。ロータリークラブでは「共に遊び、共に学び、共に奉仕せよ」という理念がございます。その理念に従い、これからの付き合い合いさせていただけたら幸いです。最後になりますが、ロータリーのエンブレムである歯車というものは機会を動かす上で必要不可欠なものであるといわれています。私もこの名古屋瑞穂RCの皆さまの活動における必要不可欠なパーツとなり、微力ではございますがお力添えさせていただきたいです。ご清聴ありがとうございました。

例会のご案内

■今週の卓話

5月17日(木)

テ - マ : デザインの力で勝ち抜く企業になる!

卓話者 : CBC テレビアナウンサー 富田和音さん

■次週の行事

5月24日(木) RAC・IACとの合同例会

時間 : 19:00~20:30

場所 : ヒルトン名古屋 28階「One O Five」

■次々週卓話

5月31日(木)

テ - マ : 富士ゼロックスの地域創生プロジェクト

卓話者 : 富士ゼロックス(株)GCS事業本部部長 杉田晴紀さん